

関連する要素

■主な建築物や開発地・施設等

- 中央区 : 晴海ふ頭、旧防波堤、晴海トリトンスクエア、など
- 港区 : 竹芝ふ頭、日の出棧橋、芝浦船溜まり、レインボーブリッジ、東京ゲートブリッジ、フジテレビ本社ビル、アクアシティお台場、ゆりかもめなど
- 江東区 : クリーンセンター、青海船溜まり、テレポートセンター、青海コンテナふ頭、国際展示場、中央防波堤、東京灯標、西防波堤、12号貯木場、14号貯木場、東防波堤、辰巳水門、砂町水門、ららぽーと豊洲、ガスの科学館、など
- 品川区 : 船の科学館、天王洲アイル、大井コンテナふ頭、八潮パークタウン、人道橋（かもめ橋）など
- 大田区 : 東京国際空港（羽田）など
- 江戸川区 : 荒川湾岸橋、葛西臨海水族園

青字:地域区分の変更に応じ、記載箇所を変更した部分  
赤字:新規に変更した部分

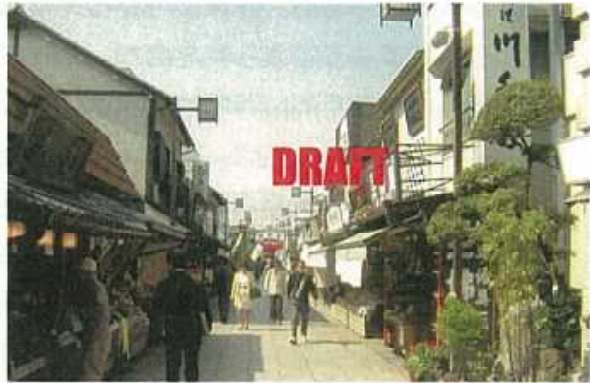
## 2 新都市生活創造域

この地域は、おおむね環状7号線から、西側はJR武蔵野線まで、東側は都県境までの区域である。住宅中心の市街地が武蔵野台地に広がり、周辺区部から多摩にかけて雑木林や農地が残るなど、武蔵野独特の景観を見せている地域である。

### ① かつての下町と戦後都市化した市街地

地域の東部は社寺が多く、その信仰を通じて住民の生活と地域の結び付きが深くなっている。祭りや縁日も多く、こうした古くからの東京の姿が、江戸時代から発達してきた下町らしさとして、各地にその特性を残している。

例えば、江戸四宿の一つとして繁栄した千住宿、西新井大師から伊興周辺にかけての寺町のほか、古代遺跡の出土や古墳もある。さらに、かつて農村地域であ



柴又帝釈天参道

った柴又地域では、多くの参拝客でにぎわう柴又帝釈天がある。都心と下町を結ぶ都営荒川線は、都内唯一の路面電車として親しまれ、沿線の各駅には商店街が立地し、それぞれ特色をもっている。

明治から大正、昭和にかけて河川沿岸部に工場が立地し、震災復興、戦災復興事業等により道路網も整備されてきた。

地域全体としては住商工が混在し、戸建て住宅や中小規模のビル群が街並みの基調となっている。白鬚地区、亀戸・大島・小松川地区等を始め、倉庫・工場群の再開発により、業務ビルや高層住宅等の立地が進むなど、街並みは大きく変化しつつある。

#### 関連する要素

##### ■主な寺社・仏閣

- 北 区 : 王子稲荷神社、赤羽八幡神社、清光寺、王子神社、正受院、金剛寺、東覚寺、大龍寺、平塚神社など
- 荒川区 : 円通寺、小塚原回向院、石浜神社、素盞雄神社、浄閑寺など
- 足立区 : 西新井大師、炎天寺と八幡神社、国土安穩寺、島根鷲神社、大鷲神社、大乘院、大聖寺など
- 葛飾区 : 半田稲荷、香取神社、柴又帝釈天、普賢寺、熊野神社、木下川薬師、白鬚神社、葛西神社、南蔵院など
- 江戸川区 : 宝林寺、浅間神社、熊野神社、昇覚寺、北野神社、大雲寺、善照寺、平井聖天、最勝寺など

### ② 河川や公園による水郷景観

地域の東部の地形は平坦で、河川網と多くの橋梁群が都市のランドマークとして重要な景観資源となっている大規模な河川や公園が水郷の景観をつくり出している。



江戸川、荒川などの広大な河川敷は、都民のスポーツ・レクリエーションの場として活用されている。水元公園では、水性植物園やバードサンクチュアリなど、自然を生かした整備もなされ、釣りやキャンプ、ジョギングなど、様々な用途に利用されている。



水元公園

本来の荒川下流部は隅田川であったが、一度重なる大洪水のため、岩淵水門から東京湾に大水を逃がすように造られたのが、現在の荒川である。かつて荒川河口付近（現隅田川）に造られた東西の水路は、江戸時代から上総の国と江戸を結ぶ重要な役割を果たしてきた。江戸初期に、行徳の塩浜から塩の運搬経路（塩の道）をつくるため、道三堀や小名木川、新川が開削された。以来、これらの水路や河川は、様々な物資の運搬や成田山参詣等にも利用され活況を呈してきた。なお、新川開削以前の舟運路であり、その役割を終えた古川は、日本初の親水公園として整備され、都民の身近な散策路となっている。近年、こうした水路を生かした親水公園や著名橋の整備が進んでおり、自然としての水辺が、より身近に感じられるようになってきている。

#### 関連する要素

##### ■主な河川

荒川、古隅田川、綾瀬川、花畑川、中川、旧中川、新中川、新川、江戸川、旧江戸川、毛長川、伝右川、圀川、芝川、新芝川、大場川など

##### ■主な橋梁

新荒川大橋、鹿浜橋、江北橋、扇大橋、西新井橋、千住新橋、堀切橋、平井大橋、小松川橋、船堀橋、葛西橋、飯塚橋、中川橋、高浜橋、青砥橋、本奥戸橋、平和橋、上平井橋、今井橋、浦安橋、江戸川大橋など

##### ■主な親水公園、河川敷、水辺公園等

- 北区——：音無川親水公園
- 足立区——：見沼代親水公園、葛西用水親水公園、神明・六本遊歩道、虹の広場、わんど公園など
- 葛飾区——：曳舟川親水公園、水元公園など

### ③ 大規模な住宅団地と木造住宅密集地域

この地域の西部は武蔵野台地の東端部に位置し、東京の都心・副都心を結ぶ鉄道の発達とともに、東京の主要な近郊住宅地として発展してきた。

武蔵野台地を刻む神田川、目黒川などの中小河川が地形の変化を生み出し、南側では多摩川沿いに国分寺崖線が、北側では荒川、新河岸川沿い低地の境の崖線が緑の帯をつくっている。

青字:地域区分の変更に応じ、記載箇所を変更した部分  
赤字:新規に変更した部分

これらを背景に、戦前から計画的に整備されてきた田園調布や常盤台に、緑豊かなゆとりある戸建て住宅団地が、高島平や光が丘に高層棟の並びまとまった住宅団地が形成されてきた。こうした市街地形成において、土地区画整理事業<sup>\*1</sup>や耕地整理事業<sup>\*2</sup>が果たした役割は大きく、世田谷区から大田区にかけての一带、荻窪、西荻窪周辺などでは、歴史と風格ある住宅地としてのイメージが残っている。

一方、道路や公園などの都市施設の整備が遅れたまま、急速に宅地化が進んだ地域も少なくない。環状7号線の沿道地域や中央線沿線地域を中心に、木造住宅が密集し、老朽化が進んだ住宅と狭隘<sup>あひ</sup>な道路の街並みなど、住環境や防災の面で問題を抱えたところが見受けられる。

#### 関連する要素

##### ■主な住宅地

- 目黒区 : 八雲・柿の木坂など
- 大田区 : 田園調布、久が原、上池台など
- 世田谷区: 公社祖師谷団地、成城、公社大蔵団地、都営下馬アパートなど
- 中野区 : 公社鷲宮西住宅、都営江古田住宅、南台など
- 杉並区 : 善福寺、南荻窪、永福町、阿佐ヶ谷団地、大田黒公園周辺地区など
- 板橋区 : 都営成増団地、公団高島平団地、常盤台など
- 練馬区 : 平和台、光が丘、北町、上石神井など

#### ④ 地域の生活拠点を中心とするにぎわい

大正年間までに、東京の骨格となる旧国鉄の鉄道網はおおむね完成し、私鉄も京王線、玉川線（現東横線）、武蔵野線（現西武線）など、都内17路線が敷設された。

昭和30年代半ば頃から、新宿、渋谷、池袋などに百貨店ができ、ターミナル型の商業施設が集積し始め、この地域はその後背地として発展してきた。それぞれの沿線における主要駅では、駅前再開発などにより、大規模な業務・商業ビルなどが建設されているところも多く、地区の中心としての表情を形成している。同時に、それぞれ個性を持った商店街が軒を連ね、にぎわいをつくり出している。

中央線沿線や世田谷区、目黒区、大田区等の私鉄沿線に、大学の立地がまとまって見受けられる。緑豊かなキャンパスが立地する駅周辺において、学園都市としての特



<sup>\*1</sup> 土地区画整理事業：土地区画整理法に基づき、都市計画区域内の土地について、公共施設の整備改善及び宅地の利用の増進を図るために行われる土地の区画形質の変更や公共施設の新設又は変更に関する事業のこと。

<sup>\*2</sup> 耕地整理事業：耕地整理法（昭和24年廃止）に基づき、農地の生産力向上のために、土地の交換分合、地目変換、区画形質の変更、道路やかんがい排水の整備等を行う事業のこと。



色を出している地域もある。

中央線や私鉄の連続立体交差事業により、鉄道沿線地域で一体的なまちづくりが進められている。

関連する要素

■主な商業拠点

- 品川区：~~武蔵小山、戸越銀座、中延、旗の台~~など
- 目黒区：~~中目黒、祐天寺、学芸大学、都立大学、自由が丘~~など
- 大田区：~~雪が谷大塚、鵜の木、千鳥町~~など
- 世田谷区：~~経堂、成城学園前、下北沢、三軒茶屋、祖師ヶ谷大蔵~~、二子玉川園、千歳烏山など
- 中野区：~~鷺ノ宮、中野、東中野、中野坂上、新中野~~など
- 杉並区：~~高円寺、阿佐ヶ谷、荻窪、西荻窪、方南町、久我山、下井草~~など
- 豊島区：~~東長崎~~など
- 板橋区：~~成増、上板橋、板橋、大山、仲宿~~など
- 練馬区：~~光が丘、練馬、江古田~~、石神井公園、大泉学園など

⑤ 雑木林や屋敷林、農地が残る東京の原風景

この地域の周辺区部から多摩にかけては、いわゆる武蔵野と呼ばれてきた地域であり、南側では区部からつながる国分寺崖線や多摩川の河岸段丘が見られ、玉川上水や野川沿い、五日市街道、東京街道沿いの緑など、まとまった緑が景観の特徴をなしている。これらは、**多摩広域拠点域**にまでその範囲がおよび、武蔵野の特徴的な景観を二つの地域で共有している。

特に、井の頭池周辺や神田川流域、国分寺崖線沿いの野川公園から国際基督教大学、国立天文台、神代植物公園にかけて広大な緑地があり、街道沿いの屋敷林や並木などとともに、緑豊かな景観を形成している。

また、多摩川や仙川、神田川、玉川上水、野川などの貴重な水辺に加え、昆虫や野鳥の生育を育む、自然豊かな景観を形成している。

しかし、かつては雑木林とそれに囲われた畑が広がる風景が多く見られたが、現在、宅地化の進行とともに雑木林や畑、崖線の緑が失われつつある。

**DRAFT**

国分寺崖線

関連する要素

■主な河川

野川、玉川上水、仙川、神田川、入間川、水無川、烏山川、多摩川など

■緑地保全地区

青字:地域区分の変更に応じ、記載箇所を変更した部分  
赤字:新規に変更した部分

狛江弁財天池特別緑地保全地区、玉川上水歴史環境保全地域、国分寺崖線緑化保全地域

■主な都立公園・緑地

- 武蔵野市：井の頭恩賜公園（他に三鷹市）、武蔵野中央公園
- 三鷹市：野川公園（他に調布市、小金井市）、武蔵野の森公園（他に調布市、府中市）、玉川上水緑道（他に福生市など）など
- 調布市：神代植物公園

■主な里山等

- 調布市：深大寺・佐須地域など

⑥ 駅周辺の新しい街並みと歴史的な資源

周辺区部から多摩地域にかけては、戦前までは畑作を中心とする農地が大部分を占めていたが、昭和30年代頃から急速に宅地化が進んだ。計画的に大規模団地の建設が進められた一方で、農地がスプロールの的に宅地化され、道路、公園などの基盤施設が未整備なまま市街化したところも多い。

吉祥寺、三鷹、調布などでは、駅周辺を中心とする再開発が活発に行われ、大規模な店舗や商業ビルが集積した商業地が形成されている。また、大学や研究機関などの立地が多く、学園都市としての落ち着いた雰囲気を見せている地域もある。

この地域では、古くからの遺跡が残り、深大寺などの社寺や史跡も多い。緑の多い武蔵野の風景について、国木田独歩や大岡昇平などが作品に著しているほか、かつて、山本有三、太宰治、武者小路実篤など数多くの文学者がこの地に住み、彼らの足跡も残るなど、歴史性・文化性に富んだ景観資源をもつ地域である。

関連する要素

■主な史跡・名勝

- 武蔵野市：稲荷神社の絵馬、杵築大社の富士山、吉祥寺四軒寺、独歩の森
- 三鷹市：長久寺の鷹場石杭、井の頭池遺跡群、国立天文台、龍源寺、神田川上水水源地、国際基督教大学泰山荘、近藤勇の墓、玉川上水、出山横穴墓群、武蔵野の水車経営農家
- 調布市：近藤勇の生家跡、深大寺、布多天神社、青渭神社、琥狛神社、深大寺城跡、実篤公園
- 西東京市：光明山福生院如意輪堂、東伏見稲荷神社、田無神社、田無山總持寺、石仏六角地藏尊
- 狛江市：泉竜寺と弁財天池、狛江古墳群、伊豆美神社



### 3 多摩広域拠点域

この地域は、JR 武蔵野線から圏央道<sup>#1</sup> までの区域であり、多摩イノベーション交流ゾーンを包含している。多摩の山地から突き出た丘陵地とそれに続く台地で構成され、その間を多摩川、浅川などの中小河川が流れている地域である。台地部の多くは市街化し、多様な機能が集積する立川や八王子などの拠点<sup>拠点</sup>がにぎわいをみせている。また、丘陵地にも開発が及んでいるが、樹林や畑などがまだ多く残り、緑豊かな景観が特徴的な地域である。

#### ① 丘陵地の豊かな緑と連続する武蔵野の面影

丘陵地内部では、丘陵を覆う雑木林、丘陵斜面に拓かれた畑、谷底平野に並ぶ水田、丘陵の低地部に連なる古い集落などが一体となっている地域も残されている。

一方、多摩丘陵周辺などでは急速に都市化が進み、開発の波が丘陵地にまで迫っており、緑の保全とともに、緑の再生や創出も計画的に進められている。規模の大きい公園が比較的多く、これらが緑道で結ばれるなど、全体として自然の豊かさが感じられる景観となっている。

新都市生活創造域から延びている国分寺崖線、多摩川、玉川上水が存在し、国分寺崖線下の真姿の池などの湧き水、国分寺跡などの社寺や史跡、雑木林とそれに囲われた畑などが特徴的な武蔵野の景観を形成している。府中の大國魂神社<sup>オホクニミタマ</sup>付近は、かつて武蔵国の国府が置かれた地であり、馬場大門<sup>ウマバ</sup>けやき並木や旧鎌倉街道沿いの分倍河原古戦場碑など、古代から中世にかけての歴史的資源も多く残っている。

#### 関連する要素

##### ■主な丘陵地

霞（加治）丘陵、狭山丘陵、草花丘陵、加住丘陵、八王子丘陵、多摩丘陵

##### ■主な河川等

多摩川、野川、柳瀬川、空堀川、奈良橋川、黒目川、落合川、不老川、残堀川、谷地川、川口川、浅川、大沢川、山田川、城山川、御霊谷川、南浅川、湯殿川、兵衛川、程久保川、大栗川、大田川、乞田川、三沢川、真光寺川、鶴見川、境川、恩田川、成木川、黒沢川、霞川、大荷田川、玉川上水、野火止用水

##### ■主な都市公園等

- 八王子市 : 長沼公園、平山城址公園（他に日野市）、滝山公園、小宮公園、陵南公園、富士森公園、片倉城跡公園
- 立川市 : 国営昭和記念公園（他に昭島市）
- 青梅市 : 永山公園、釜の淵公園
- 府中市 : 武蔵野公園、浅間山公園、府中の森公園、多磨霊園（他に小金井市）
- 昭島市 : 拝島公園
- 町田市 : 小山田緑地、薬師池公園、芹ヶ谷公園、民権の森公園
- 小金井市 : 小金井公園

<sup>#1</sup> 圏央道：首都圏中央連絡自動車道

青字:地域区分の変更に応じ、記載箇所を変更した部分  
赤字:新規に変更した部分

○小平市	: 小平霊園（他に東村山市、東久留米市）
○日野市	: 多摩動物公園、七生公園
○東村山市	: 東村山中央公園、八国山緑地、狭山公園（他に東大和市）、狭山・境緑道（他に西東京市など）
○国分寺市	: 殿ヶ谷戸庭園、武蔵国分寺公園
○福生市	: 多摩川中央公園、日光橋公園
○東大和市	: 東大和公園、東大和南公園
○武蔵村山市	: 野山北・六道山公園（他に瑞穂町など）
○多摩市	: 桜ヶ丘公園、中沢池公園、宝野公園、多摩東公園、多摩中央公園
○羽村市	: 羽村市動物公園
○あきる野市	: 秋留台公園、草花公園
○瑞穂町	: 狭山池公園
<b>■主な特別緑地保全地区等</b>	
瀧浪泉園特別緑地保全地区、野火止用水歴史環境保全地域、矢川緑地保全地域、南沢緑地保全地域	
<b>■主な史跡・名勝</b>	
○立川市	: 普濟寺、根川の桜堤、阿豆佐味天神社
○府中市	: 分倍河原古戦場、府中高札場、多磨霊園、馬場大門けやき並木、大國魂神社
○小金井市	: 貫井神社、幡随院、三光院、旧自証院霊屋など
○小平市	: 小川寺、神明宮、鈴木遺跡、八小遺跡、小金井（サクラ）
○東村山市	: 小平霊園、正福寺千体地藏堂、徳蔵寺（板碑保存館）、梅岩寺のケヤキ、久米川古戦場、下宅部遺跡
○国分寺市	: 国分寺薬師堂、武蔵国分寺跡、お鷹の道、真姿の池
○福生市	: 熊川神社
○清瀬市	: 氷川神社、中里富士、日枝神社、清瀬薬師、円通寺、旧森田家
○東久留米市	: 米津寺、多聞寺、氷川神社
<b>■風致地区</b>	
○八王子市	: 多摩陵風致地区
○立川市	: 玉川上水風致地区（他に小平市など）、五日市街道風致地区
○小平市	: 東京道風致地区、青梅街道風致地区、鈴木道風致地区
○東村山市	: 北山風致地区

## ② 計画的な都市づくり

八王子、町田、青梅、日野などは、かつての宿場を基盤に、石灰、木材、織物などの地域の産業を背景に市街化した。

また、立川、拝島、福生などは、早くから軍需産業都市として発達してきた。核都市（八王子、や立川、青梅、町田、多摩ニュータウン）や、府中、小金井、国分寺などの拠点性の高い地域の駅周辺において、それぞれの市街地を基盤に、駅前の再開発などにより、商業・業務ビルが立ち並び、にぎわいのある景観を形成している。東大和駅、秋川駅周辺や私鉄沿線の主要駅周辺では、かつての畑作中心のまちが急速に住宅都市として発展している。

丘陵地では、昭和40年代以降、郊外における大規模なニュータウン開発が各所で進み、起伏のある地形に沿って、計画的に形成された都市が広がっている。



首都大学東京、中央大学、多摩大学などの大学の立地が多く見られるほか、企業の研究機関、先端産業の立地や、多摩都市モノレールの整備が進み、**首都圏中央連絡自動車道（圏央道）などの建設が進みが開通するなど**、かつての住宅団地の集合体から、住、商、産、学などの複合都市へと変貌を遂げている。

**関連する要素**

■ **主な核都市駅前再開発**

八王子、立川、青梅、町田、多摩ニュータウン、府中、国分寺など

青字:地域区分の変更に応じ、記載箇所を変更した部分  
赤字:新規に変更した部分

#### 4 自然環境共生域

この地域は、**圏央道外側**の西多摩地域の山間部を中心とする地域及び伊豆・小笠原諸島で構成されている。多摩山間部は、豊かな自然が残された森林を有し、隣接県の山間部と一体となって、水源地やレクリエーションエリアとしての多様な役割を担っている地域である。島しょ地域は豊かな海洋資源が美しい海洋景観を形成し、独自の文化をもつ地域である。

##### ① 山岳や溪谷などの自然美

多摩の山地では、山岳と溪谷がつくる自然美が特徴であり、美しい森林や秋の紅葉など、自然を求める都民に憩いを与える環境を形成している。山岳地帯には、秩父多摩甲斐国立公園、明治の森高尾国定公園、都立高尾陣馬山自然公園が指定されており、良好な自然景観が残されている。



奥多摩周遊道路

秋川や多摩川などの上流では、自然豊かな溪流が美しい景観をつくり出し、**払沢の滝**や

**百尋の滝**、**吉祥寺滝**など、特色ある滝が各所に見受けられる。多摩川の上流にある奥多摩湖は、都民の大切な水源地にもなっている。

地質は、中生代の地層や古生層が中心で、急峻な地形をなし、日原鍾乳洞やツツラ岩、神戸岩など、特殊な地形が各所にあり、観光資源となっている。

奥多摩周遊道路などの観光ルートを始め、キャンプ場やハイキングコースなどの整備が進み、豊かな自然を享受する身近な山岳のレクリエーションエリアとして、都民に親しまれている。

##### 関連する要素

###### ■主な山岳・高原

高尾山、陣馬山、御岳山、日の出山、高水山、惣岳山、岩茸石山、臼杵山、市道山、大岳山、刈寄山、馬頭刈山、三頭山、御前山、川苔山、本仁田山、棒の折山、倉戸山、雲取山、陣馬高原

###### ■主な溪谷・滝・洞窟等

- 青梅市 : 御岳溪谷、吉野峡、綾広の滝、七代の滝
- あきる野市 : 秋川溪谷、養沢鍾乳洞、大岳鍾乳洞、三ッ合鍾乳洞、六枚屏風岩、南沢鳥ノ巣石灰岩産地
- 日の出町 : 白岩滝、岩井のエントモノチス化石産地
- 檜原村 : 払沢の滝、中山の滝、吉祥寺滝、三頭の大滝、ツツラ岩、神戸岩
- 奥多摩町 : 鳩ノ巣溪谷、日原溪谷、惣岳溪谷、百尋の滝、日原鍾乳洞、白髪大岩

##### ② 地域に根ざした民家や生活文化



主要な河川沿いに街道が通り、これに沿って古くからの集落が形成されている。青梅街道沿いに JR 青梅線が走り、多くのトンネル、鉄橋は、かつての石灰運搬鉄道時代の歴史を伝える土木遺産となっている。

街道沿いの集落には、社寺が点在するほか、江戸末期の山間部落の娯楽施設として、農民の手によって建てられた太子堂舞台など、史跡も多く、集落に固有の素朴な行事も伝わっている。国の重要文化財に指定された旧小林住宅を始め、古くから地域に根ざした生活文化を反映する古い民家が散見される。檜原村数馬地区のように、兜造りの民家が残る、特徴ある景観を形成している地区も見られる。



兜造りの民家（檜原村）

#### 関連する要素

##### ■主な寺社・仏閣、史跡・名所

- 青梅市 : 御嶽神社、海禅寺、辛垣城跡
- あきる野市 : 広徳寺、大悲願寺、普門寺、菅生の組立舞台
- 日の出町 : 東光院妙見宮、新井薬師
- 檜原村 : 吉祥寺
- 奥多摩町 : 小河内神社、太子堂、数馬の石門、小河内太子堂舞台

### ③ 植林地が広がる山並み

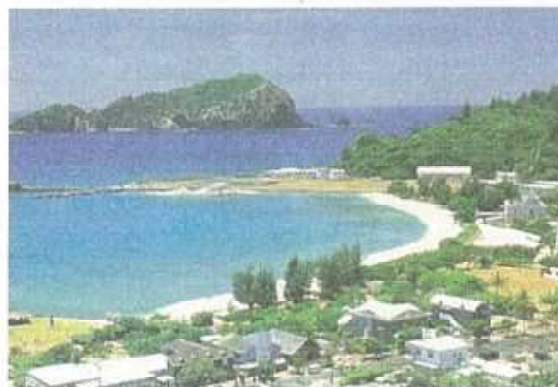
古来より深い森林に囲われており、林業はこの地域の主要な産業である。植林地の広がる急峻な山並みは、地域の産業を表す特色ある景観となっている。

こうした森林の緑は、東京全体の自然環境面からも重要な役割を担っているが、一方で、現在では森林の粗放化が進んでいる。

### ④ 美しい海岸線など、豊かな自然の宝庫

伊豆七島と小笠原諸島は大小 30 余りの島からなり、富士箱根伊豆国立公園、小笠原国立公園の指定区域となっている。

伊豆諸島は、富士火山帯が太平洋につながる火山列島で、玄武岩、流紋岩、安山岩等からなる火山性地質構造をもち、大島の三原山、三宅島の雄山、八丈富士などの火山のほか、砂浜や海蝕崖、リアス式海岸などが特徴ある景観を形成している。大島の桜株や新島における東要寺のイヌマキとい



二見港周辺（小笠原村父島）

青字:地域区分の変更に応じ、記載箇所を変更した部分  
赤字:新規に変更した部分

った大木、ナギの自生地、御蔵島の鈴原湿原など、各島に固有の自然景観資源も多い。

小笠原諸島は、亜熱帯性海洋気候に属し、本土には珍しい植物や生物を見ることができ、美しい海洋景観が広がっている。海水浴場やダイビングスポットが多く、マリンスポーツのほか、ホエールウォッチングなど、豊かな自然景観を生かした観光・レジャーが盛んである。

#### 関連する要素

##### ■主な自然景観

- 大島 : 三原山、碁石浜、行者浜、乳が崎、干場崎海岸、シイの木山のシイの木群叢、野増大宮のシイ、大島の桜株、差木地の大クス、大島海岸植物群落、大砂漠地帯、干波地層断面、おたいね浦の岩脈と筆島、潮吹き鼻
- 八丈島 : 八丈富士、三原山、名古屋の滝、ヘゴ自生北限地帯、八丈小島のハマオモト群落、六日ヶ原砂丘、南原千畳岩
- 新島・式根島 : 羽状浦海岸、前浜海岸、間々下海岸、東要寺のイヌマキ・ナギ自生地、白ママ層海蝕崖
- 神津島 : 天上山、前浜海岸、長浜海岸、孫平根、返浜、多幸湾、沢尻湾、釜が下洞窟、うすまき岩、櫛が峰、メッポー山・ブットーシ岩
- 三宅島 : 雄山、サタドー岬、三池浜、伊豆岬灯台、メガネ岩、新澤池、大路池、堂山のシイ、神着の大桜、島役場跡のビャクシン、赤場暁、雄山の火口
- 小笠原諸島 : 中央山、乳房山、御幸之浜、宮之浜、境浦、小港、常世の滝、南島
- 御蔵島 : 御山、御代ヶ池、白滝、白ヒゲの滝、鈴原の湿原植物群落
- 青ヶ島 : 大凸部、池之沢

#### ⑤ それぞれの島に伝わる歴史と文化

各島の歴史は様々だが、神津島の半坂遺跡では島の原産である黒曜石の石器が発見されている。この石器は、御蔵島のゾウ遺跡や大島の岩陰遺跡などから見つかっていることから、ところによっては縄文時代から人が住み、島と島を結び交流があったことが知られている。

源為朝を始め、古くから武士や町人、僧侶などが島々に流されたが、流人の中には島の文化を高めた英雄や著名人もいて、これらの人々の墓が各島の歴史や文化を伝えている。

島しょ独特の気候風土から培われた景観として、台風から家を守る玉石垣が八丈島や小笠原諸島では残っている。また、くさや等の水産加工業を始め、椿油、観葉植物やエビネランの栽培、島焼酎、黄八丈、抗火石など、各島の気候や風土を反映した地場産業が息づき、椿畑、アロエ園、抗火石採掘場などが、地域に特有の景観をつくり



玉石垣（八丈島）